論文審査（問題用紙）

|  |
| --- |
| 【タイトル】  大阪府における、課題のある業務・システム（老朽化・小規模等）のデジタル化について |
| 【問題文】  （背景）  大阪府には、紙申請による手続をはじめ職員の手作業によって事務処理が行われている業務（アナログ業務）や、老朽化した小・中規模程度のシステムで実施している業務（以下「課題のある業務・システム」という。）が多数存在している。  これらの業務について効率化を図るべく、ローコードやRPAをはじめとする既存のツールを用いて、できるだけ均質なシステムとなるよう、システムの構築や更改を図っていくことが急務となっている。  課題のある業務・システムとは、具体的に次の①から④のいずれかにあてはまるものとする。  ① ＩＴに詳しい担当職員の退職や異動、仕様書等ドキュメントの未整備等により、ブラックボックス化し、改修や更改に係るコストの高止まりを招いているシステムがある。  ② スタンドアロン端末で稼働しており、複数人が同時に操作することができないシステムがある。  ③ 入出力・更改等の機能が複雑ではなく、ある程度の作業により移植することは可能だが、業務所管課が移植前後の作業・業務負担の増加を懸念し、移植を見合わせているシステムがある。  ④ 他課で同様の業務がデジタル実装されているが、上記と同様、業務所管課が実装前後の作業・業務負担の増加を懸念し、実装を見合わせているアナログ業務がある。  上記のような背景を踏まえ、これまでのあなたの業務経験やあなたが有するスキルなどに基づき、以下の設問１及び２について論述せよ。  【設問１】  課題のある業務・システムのデジタル実装（構築や更改）の実践にあたり、あなたのこれまでの経験から、どのようにアプローチしていくべきか、デジタル実装の手法や、タスク・スケジュールの組み方に触れつつ、あなたの考えを述べよ。（800字以内）  【設問２】  設問１の実践にあたり、チーム内や業務所管課の担当者との間で、どのようなコミュニケーションを実施すべきかについて、あなたの考えを述べよ。（400字以内） |

論文審査（回答用紙）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |

【設問１】

課題のある業務・システムのデジタル実装（構築や更改）の実践にあたり、あなたのこれまでの経験から、どのようにアプローチしていくべきか、デジタル実装の手法や、タスク・スケジュールの組み方に触れつつ、あなたの考えを述べよ。（800字以内）

|  |
| --- |
| 回答(800字以内) |
|  |

論文審査（回答用紙）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |

【設問2】

設問１の実践にあたり、チーム内や業務所管課の担当者との間で、どのようなコミュニケーションを実施すべきかについて、あなたの考えを述べよ。（400字以内）

|  |
| --- |
| 回答(400字以内) |
|  |